

平成 29 年 12 月吉日

会員各位

一般社団法人 福島県作業療法士会
県北支部 支部長 近澤 大

平成 29 年度 県北支部「生活行為向上マネジメント事例検討会」開催のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

この度、県北支部「生活行為向上マネジメント事例検討会」を開催することとなりました。今回の事例検討会の発表は、以下の事例となっております。ぜひたくさんの方に聴講いただき、発表や事例登録へと繋げていただければと思います。基礎研修を修了していなくても聴講と検討会への参加は可能ですので、積極的な参加をお待ちしています。

記

1. 日程：平成 30 年 1 月 28 日(日) 9 時～16 時 (受付 8 時 30 分～)
2. 場所：あづま脳神経外科病院 2 階 大会議室
3. 内容：MTDLP 事例検討会

講師：根田英之氏（南東北第二病院） 宗像暁美氏（太田西ノ内病院）、
高田善栄氏（リハビリ南東北川俣）

発表者名（所属）	演題名
斎藤 亨 (訪問看護ステーションしみず)	本人・家族両方の目標達成に向けて～COPD の利用者～
橋内 駿 (大原医療センター)	役割が多いクライアントに対する事例～MTDLP を使用して～
佐藤 卓磨 (北福島医療センター)	重症度分類 5 の ALS 患者に対し残存機能に応じた連絡手段獲得への介入を行った事例 マネジメントを使用した在宅への支援 (仮)
小貫 一彦 (わたり病院)	肺炎悪化からの復活 再び趣味活動へ
瀬川 菜苗 (わたり病院)	寝たきり重度片麻痺患者の排泄と移動手段の自立獲得
今野 瑛 (わたり病院)	左片麻痺患者の自宅復帰を目指して (仮)
野地 奈津美 (わたり病院)	脊髄損傷患者の身辺動作獲得 (仮)
安田 竜馬 (あづま脳神経外科病院)	トイレに一人で行きたい。～自宅生活への第一歩～

鈴木 菜美 (あづま脳神経外科病院)	「お父さんに酢豚を作ってあげたい」～家庭内役割の再獲得を目指して～
落合堂 舞子 (あづま脳神経外科病院)	急性期における MTDLP の実践
太田 濤奈 (あづま脳神経外科病院)	歩いて帰りたい～機能的目標から MTDLP を用いて日常生活に目を向けた目標設定 (仮)
大内 美穂 (栞記念病院)	演題名未定
古川 香菜 (栞記念病院)	演題名未定
富田 若葉 (介護老人保険施設 ケア フォーラムあづま)	「できるようになりたい」という本人の意思を尊重することで自己効力感の向上がみられた症例
白井 恵理哉 (芦ノ牧温泉病院)	役割再獲得という目的を共有するために MTDLP を用いた症例
横地 郁子 (竹田総合病院)	主体性を引き出し、MTDLP を用いたことで目標を明確化し独居生活へ繋がった症例 (仮)
宍戸 竜也 (竹田総合病院)	脳卒中急性期にて MTDLP を用い目標の共有を図った症例 (仮)
栗城 溪 (竹田総合病院)	MTDLP を用いたことで問題点の共有ができた症例 (仮)

4. 参加費：無料

5. 申込締切：平成 29 年 12 月 29 日 (金)

6. 申込方法：申込用紙に必要事項をご記入の上、メール又は FAX にてお申込みください。

7. その他：今回の勉強会は、生涯教育基礎コースの 2 ポイントに該当します。

以上

【お問い合わせ先】

介護老人保健施設 リハビリ南東北川俣 高田善栄

TEL:024-538-1611(代) FAX:024-538-1588

Mail: kawamata.rehasec@mt.strins.or.jp

(表紙不要です)

平成 29 年度 福島県作業療法士会 県北支部

「生活行為向上マネジメント事例検討会」

参加申込用紙

介護老人保健施設 リハビリ南東北川俣

リハビリテーション科 高田善栄 行き

FAX : 024-538-1588 Mail : kawamata.rehasec@mt.strins.or.jp

申込み締切 平成 29 年 12 月 29 日 (金)

病院・施設名 _____ (_____ 支部)

連絡先 _____

E-mail _____

氏 名	氏名

※用紙が不足する場合はコピーをしてご使用ください